

## 株主メモ

■事業年度 毎年5月21日から翌年5月20日まで

■定時株主総会 毎年8月20日までに開催

■定時株主総会の基準日 毎年5月20日

■期末配当の基準日 毎年5月20日

■中間配当の基準日 毎年11月20日

■公告方法 電子公告<<http://www.kusuri-aoki.co.jp>>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

■株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

■同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社 本店

■郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

■お問合せ先 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)

## お知らせ

### 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 上場株式配当金等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

### 未払配当金について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、(株)証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問合せください。

## 株式会社 クスリのアオキ

〒924-8510 石川県白山市松本町2512番地

TEL.076-274-1111 FAX.076-274-6114

ホームページアドレス <http://www.kusuri-aoki.co.jp>



クスリのアオキ



クスリのアオキ

# 第25期 年次報告書

平成20年5月21日～平成21年5月20日



株式会社クスリのアオキ

証券コード：3398



代表取締役社長  
青木 保外志

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社クスリのアオキ第25期年次報告書をお届けし、営業の概況等をご報告させていただきます。

当社は、健康・美・衛生を核として、時代と社会の要請に応えられる企業を目指し、日々新たな自己変革に取り組んでおります。地域医療の一員としての自覚を持ち、多様化するお客様の願いやお悩みに真正面から向き合い、解決できるソリューションストア〈問題解決型店舗〉でありたいと思っております。

当社は現在、北陸三県（石川県、富山県、福井県）と新潟県、そして前期より新規に店舗展開を始めた長野県に、合計141店舗を有しております。今後も皆様のご期待にお応えすべく、地域に密着した店舗を築き上げ、更なる経営基盤の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成21年8月

沿革



▲店舗

1985年 ● 株式会社クスリのアオキ設立 (昭和60年)

1986年 ● 一号店を石川県金沢市に出店 (昭和61年)

1995年 ● 本部兼集配センターを新設 (平成7年)

1997年 ● 富山県・福井県に出店開始 (平成9年)  
● 株式会社ツルハと業務・資本提携

2000年 ● 株式会社ニチイ学館と業務提携 (平成12年)

2001年 ● イオンウエルシアグループ加入 (平成13年)

2003年 ● イオン株式会社と業務・資本提携 (平成15年)

2005年 ● 新潟県に出店開始 (平成17年)  
● 調剤業務ISO9001:2000取得

2006年 ● 東京証券取引所第二部上場 (平成18年)  
● 子会社(株式会社青木二階堂)設立

2007年 ● 100店舗達成 (平成19年)

2008年 ● 長野県に出店開始 (平成20年)



▼本部

「北信越のアオキ」を目指し、着実に出店を進めています！

常務取締役 開発本部長 兼 店舗開発部長

三沢 康司

略歴

平成10年4月 当社入社取締役開発担当部長就任

平成19年5月 常務取締役開発本部長兼店舗開発部長就任（現任）

北陸地域のドミナントの深耕

クスリのアオキの北陸地域での店舗数シェアは、ドラッグストア業界において35%を超えており、相当なドミナントが構築されていますが、今後の出店方針をお聞かせください。

シェアNo.1に甘んじることなく、今後も北陸地域での更なるシェア拡大を目指して、新規出店を継続してまいります。

ドミナント戦略とは、特定地域内に集中した出店を行うことにより経営効率を高める戦略であり、当社においては大変成果を上げている戦略です。もう少し具体的にその中身を申し上げますと、特定地域内に多店舗展開することで、お客様の認知度が高まり来店頻度のアップに繋がること、1店舗当たりのコストが低減すること、特に商品配送の効率化やチラシ配布等に係る販促費が低減するというメリットがあります。また、お客様にとって



▲小松市9店舗目 小松日の出店（平成20年4月オープン）

も身近な場所に店舗があることで利便性が高まるというメリットがあります。

北陸地域の店舗数シェアは相当高いと思えますが、緻密に商圏を見ていきますと、まだまだ出店の余地は残されています。当社で最もドミナントが完成している市町村に、石川県小松市があるのですが、人口10万人強の商圏に当社の店舗が9店舗もあります。この9店舗は全て採算店舗であり、ドミナントの有効性が実証されているエリアです。

品揃えや販売力の充実を継続することで既存店の信用を高めつつ、これからも新規出店を継続して、北陸地域を更に強固なドミナントエリアに仕上げていきたいと考えております。それにより、地域のお客様の支持を得ながら、クスリのアオキの経営基盤をより堅固なものにしたいと考えております。

▶▶▶ドミナント事例：石川県小松市



## 信越地域のドミナント形成に向かって

平成17年に新潟県に第1号店をオープンし、昨年、平成20年8月には長野県に第1号店をオープンして、信越地域を新たな商圏として進出されましたが、信越地域の現在のドミナントの進行状況と今後の出店戦略についてお聞かせください。

**A** 新潟市や長野市など当該地域の大商圏へも出店拡大を行い、信越地域におけるドミナント形成を進めてまいります。

信越地域の第1号店の出店地は新潟県上越市で、平成17年11月にオープンした藤巻店ですが、それ以来、同市内にドミナント形成を行い、現在は5店舗を有しております。同市内の店舗損益は出店当初より赤字が続いておりましたが、**ドミナント形成と比例して損益が改善し、前期に営業利益段階で黒字に転換することができました。**

上越市に引き続き出店した柏崎市には、現在3店舗を有しておりますが、今年もう1店舗新規出店する計画を進めており、4店舗体制になる予定です。同市も上越市と同様、ドミナントの形成とともに、損益が改善してきております。

新潟県並びに長野県の**信越地域におけるドミナ**



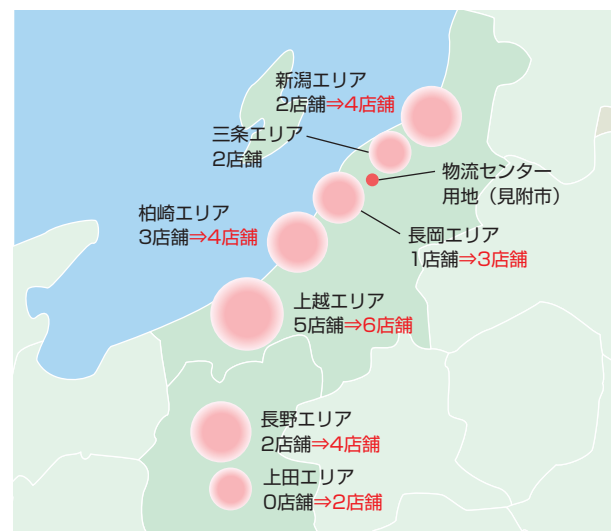
▲長野県2店舗目 南高田店（平成21年3月オープン）

ント戦略は、当社の成長を担う重要な戦略であります。以前より出店している新潟市や長岡市もそうですが、昨年、平成20年8月に長野市内に長野県第1号店をオープンしておりますように、**当該地域の大商圏を中心に新規出店を継続し**、信越地域全体のドミナント形成に向かって、店舗開発を進めていきたいと考えております。当期、平成22年5月期におきましては、新潟県に6店舗、長野県に4店舗の合計10店舗を出店する計画を進めております。

また、昨年、平成20年11月には、将来、信越地域の店舗への配送を担う物流拠点を建設するべく、新潟県見附市に用地を取得しております。この**物流拠点を建設し、十分活用するためにも、信越地域での店舗網拡大は重要な経営戦略**だと認識しております。

信越地域の出店、そのドミナント形成により、企業の成長に寄与したいと考えておりますので、今後も応援の程宜しくお願い申し上げます。

## ▶▶▶ 第26期 信越地域店舗展開計画



## 営業の概況

## Business Review

## 当期（平成21年5月期）の営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期においては世界的な金融危機の深刻化に加え、原油価格や原材料価格の高騰等がみられ、下半期においては株式・為替市場の大幅な変動等により、企業収益の悪化は鮮明となり、景気の急速な後退が続く厳しい状況となりました。また、雇用・所得環境の悪化を背景に将来に対する先行き不安が広まり、個人消費の停滞色が強まりました。

当ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、改正薬事法の施行に伴う医薬品販売の先行きの厳しさ等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

しかしながら当社グループ（当社及び連結子会社）では、これらの課題を克服するために、地域のお客様に支持される売場づくりに努め、当連結会計年度において、5店舗の全面改装を実施するとともに、改正薬事法の施行に伴う医薬品販売の新資格である登録販売者の養成に向けての取り組みや社員教育の充実に引き続き努力してまいりました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを石川県に2店舗、富山県に3店舗、福井県に4店舗、新潟県に4店舗、長野県に2店舗の合計15店舗の出店を行い、更なるドミナント化を推進いたしました。また、ドラッグストア併設調剤薬局を石川県に2薬局、富山県に1薬局新規開設いたしました。

この結果、当連結会計年度末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア129店舗（内調剤薬局併設店舗39店舗）、調剤専門薬局3店舗の計132店舗となっております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高494億21百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益17億34百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益17億88百万円（前年同期比8.5%増）、当期純利益9億74百万円（前年同期比7.0%増）となり、増収増益を確保いたしました。

なお、商品部門別売上高は、ヘルス（医薬品や健康食品等）106億40百万円（売上構成比21.5%、前年同期

比8.4%増）、ビューティ（カウンセリング化粧品やフェイスクア商品等）123億52百万円（同25.0%、同10.1%増）、ライフ（家庭用品やベビー関連用品等）231億20百万円（同46.8%、同12.5%増）、調剤（薬局にて処方する医療用医薬品）33億7百万円（同6.7%、同15.7%増）となっております。

## 次期（平成22年5月期）の見通し

平成22年5月期の見通しにつきましては、引き続き景気の悪化は続くものと予想され、個人消費につきましても、個人所得の伸び悩みや将来への不安感などにより引き続き低調に推移するものと思われま

す。ドラッグストア業界におきましても、経営統合や業務・資本提携、出店・価格競争に加え、平成21年6月施行の「改正薬事法」を契機に他業種を交えた一層激しい企業間競争が予想され、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

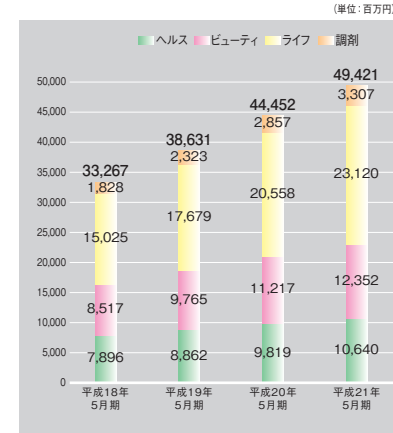
す。このような環境の下、当社グループは、引き続きお客様の視点に立った店舗開発や売場づくりを進めるとともに、お客様の満足度向上のための社員教育やローコストオペレーションの推進などに積極的に取り組んでまいります。

平成22年5月期の店舗投資計画につきましては、更なるドミナント化に向けて、ドラッグストア20店舗の新規出店を計画しており、既存店につきましても、全面改装も含め、引き続き活性化を図ってまいります。また、調剤薬局につきましては、調剤マーケットでの事業拡大に向けて、調剤専門薬局4薬局、ドラッグストア併設調剤薬局7薬局の新規開設を計画しております。

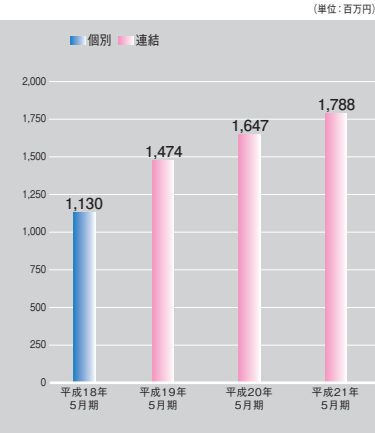
以上により次期の連結業績見通しといたしましては、売上高555億83百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益20億71百万円（前年同期比19.5%増）、経常利益21億円（前年同期比17.4%増）、当期純利益11億84百万円（前年同期比21.6%増）を予想しております。



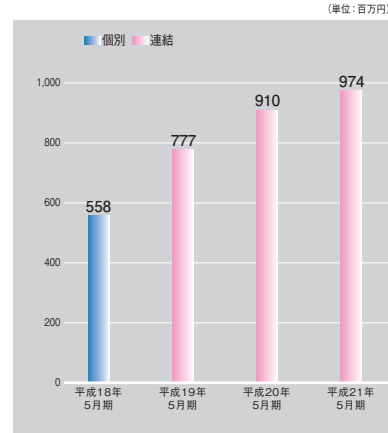
売上高



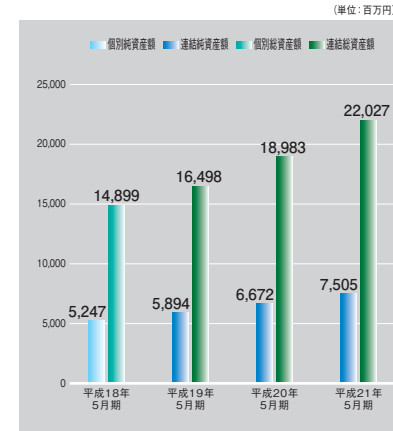
経常利益



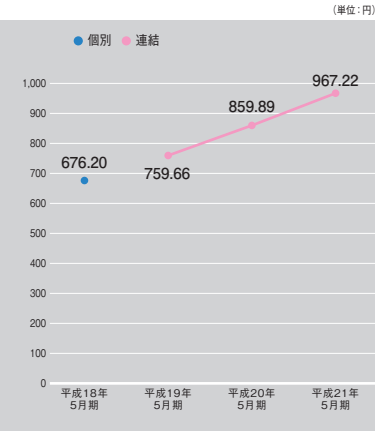
当期純利益



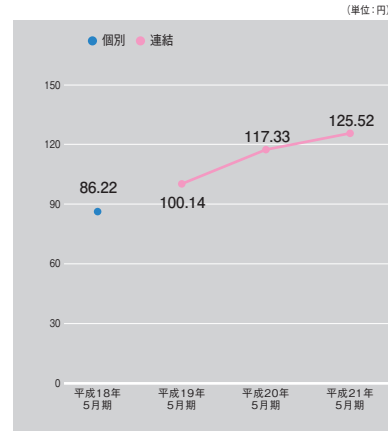
純資産額/総資産額



1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



(注) 平成19年5月期より、連結子会社(株式会社青木二階堂)の設立に伴い、連結決算を行っています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位: 千円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成21年5月20日現在	平成20年5月20日現在		平成21年5月20日現在	平成20年5月20日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>1 流動資産</b>	<b>9,024,207</b>	<b>8,201,471</b>	<b>3 流動負債</b>	<b>10,401,504</b>	<b>9,120,931</b>
現金及び預金	2,039,345	1,965,192	支払手形及び買掛金	6,924,908	6,155,377
売掛金	576,430	516,764	短期借入金	1,031,551	930,033
商品及び製品	5,336,617	4,818,703	その他	2,445,045	2,035,520
繰延税金資産	435,353	359,498	<b>4 固定負債</b>	<b>4,120,603</b>	<b>3,189,715</b>
未収入金	625,097	527,899	長期借入金	3,537,817	2,810,022
その他	11,362	13,412	退職給付引当金	75,115	79,552
<b>2 固定資産</b>	<b>13,003,521</b>	<b>10,781,896</b>	役員退職慰労引当金	214,060	210,750
有形固定資産	<b>10,380,797</b>	<b>8,603,352</b>	その他	293,610	89,390
建物及び構築物	8,443,663	7,536,413	<b>負債合計</b>	<b>14,522,108</b>	<b>12,310,646</b>
土地	1,047,937	770,565	<b>純資産の部</b>		
その他	889,196	296,373	株主資本	<b>7,507,334</b>	<b>6,657,448</b>
無形固定資産	<b>472,980</b>	<b>418,076</b>	資本金	1,294,330	1,294,330
投資その他の資産	<b>2,149,744</b>	<b>1,760,466</b>	資本剰余金	1,497,114	1,497,114
敷金及び保証金	1,415,777	1,195,825	利益剰余金	4,715,889	3,866,003
繰延税金資産	221,438	199,733	評価・換算差額等	△ 1,714	15,272
その他	512,528	367,307	<b>純資産合計</b>	<b>7,505,620</b>	<b>6,672,721</b>
貸倒引当金	-	△ 2,400	<b>負債・純資産合計</b>	<b>22,027,728</b>	<b>18,983,367</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,027,728</b>	<b>18,983,367</b>			

POINT

- 流動資産**  
新規出店によるたな卸資産の増加等により、8億22百万円増加し、90億24百万円となりました。
- 固定資産**  
新規出店による建物等の有形固定資産の増加等により、22億21百万円増加し、130億3百万円となりました。
- 流動負債**  
新規出店による仕入高の増加に伴う買掛金の増加等により、12億80百万円増加し、104億1百万円となりました。
- 固定負債**  
新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金の増加等により、9億30百万円増加し、41億20百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 千円)

科目	当期	前期
	平成20年5月21日から平成21年5月20日まで	平成19年5月21日から平成20年5月20日まで
<b>1 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,050,782</b>	<b>1,443,377</b>
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,656,044</b>	<b>△ 2,340,415</b>
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>629,415</b>	<b>677,047</b>
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	24,153	△ 219,991
現金及び現金同等物の期首残高	1,415,192	1,635,183
現金及び現金同等物の期末残高	1,439,345	1,415,192

POINT

- 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
主に税金等調整前当期純利益17億34百万円と減価償却費6億74百万円の計上、仕入債務の増加7億69百万円、たな卸資産の増加5億17百万円、法人税等の支払7億87百万円等によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出21億66百万円、定期性預金預入による支出13億19百万円、定期性預金払戻による収入12億69百万円等によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
主に新規店舗の建物建築資金等を使用とする長期借入による収入18億10百万円と、長期借入金の返済による支出9億80百万円等によるものです。



## 連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年5月21日から平成21年5月20日まで	平成19年5月21日から平成20年5月20日まで
売上高	49,421,220	44,452,020
売上原価	36,608,516	33,100,663
売上総利益	12,812,704	11,351,356
販売費及び一般管理費	11,078,535	9,782,825
<b>1 営業利益</b>	<b>1,734,168</b>	<b>1,568,530</b>
営業外収益	162,039	159,221
営業外費用	108,148	80,472
<b>1 経常利益</b>	<b>1,788,059</b>	<b>1,647,280</b>
特別損失	53,332	3,008
税金等調整前当期純利益	1,734,727	1,644,271
法人税・住民税及び事業税	846,705	785,385
法人税等調整額	△ 86,025	△ 51,570
当期純利益	974,046	910,457

## POINT

## 1. 営業利益・経常利益

新規店舗を期初計画通り出店することができ、既存店につきましても全面改装を含め活性化に努力してまいりました。その結果、営業利益は17億34百万円(10.6%増)、経常利益は17億88百万円(8.5%増)となりました。

## 連結株主資本等変動計算書

平成20年5月21日から平成21年5月20日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等			純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	株 主 資 本 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 計		
前 期 末 残 高	1,294,330	1,497,114	3,866,003	6,657,448	15,272	15,272	6,672,721	
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当			△ 124,160	△ 124,160			△ 124,160	
当 期 純 利 益			974,046	974,046			974,046	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△ 16,987	△ 16,987	△ 16,987	
当 期 変 動 額 合 計	-	-	849,886	849,886	△ 16,987	△ 16,987	832,899	
当 期 末 残 高	1,294,330	1,497,114	4,715,889	7,507,334	△ 1,714	△ 1,714	7,505,620	

## トピックス

## 調剤事業拡大に向けて～当社初の門前薬局がオープン!～

「医薬分業」が進み、調剤市場は今後も拡大する傾向にあります。当社が基盤を置く北陸地方は、全国的に見ても分業率の低い地域であると言われております。反面、それは、今後進展の余地が非常に高い地域であるということです。当社では、平成20年11月に新設した「調剤事業本部」を中心に、調剤事業拡大に向けてさまざまな取り組みを行っています。当社の基本方針は、ドラッグ店舗併設型の調剤薬局ですが、26期は、地域中核病院の門前薬局の開局にも挑戦しています。

## クスリのアオキ 富山県立中央病院前薬局

## ◆立地

平成21年6月に開局した、当社初の病院前門前薬局です。駐車場はありませんが、富山県立中央病院の出口のほぼ真正面に位置しているため、病院で診察を終えた帰りに立ち寄ることができ、患者様にとって利便性の高い立地と言えます。

## ◆待合室～癒しとくつろぎの空間～

ドラッグ店舗併設型の調剤薬局と比べて広く、雰囲気異なる待合室。門前薬局ということ、お薬をお渡しする際、どうしても待ち時間が長くなってしまいう傾向がありますが、当該薬局では「待ち時間を感じさせない」空間作りを重視しています。内装は、ダークブラウンの木目調に白という色使いで統一。更に、間接照明や、ピアノ曲を流すことなどにより、ゆったりとくつろいでいただけるような雰囲気が演出されています。また、お子様連れでも安心のキッズスペースなども設けられているほか、



開局日：平成21年6月1日  
所在地：富山県富山市西長江  
開局時間：月曜日から金曜日  
9:00～18:00  
薬剤師数：2名



マッサージチェアや、血圧などの測定コーナーもお気軽にご利用いただけます。



これまでにないサービスとして、自動販売機を設置し、お好みのドリンクをご自由に飲んでいただけるようにしています。

## ◆お気軽にご相談ください！

患者様に対する接遇に関しても気を配っています。薬剤師による丁寧な服薬指導や健康相談はもちろんのこと、患者様がお帰りの際は揃ってお見送りするなど、スタッフ全員が笑顔で親切な対応を心がけ、「また来たい」と思っただけのような薬局を目指しています。



ゆったりとした相談カウンター。  
「何でもご相談ください！」 by 薬局長



「お大事に！」

## ◆確かな専門性

広い調剤室には、富山県立中央病院の診療科に対応し、幅広い種類の薬を用意、保管することができます。例えば、富山県ならではの「和漢診療科」に対応し、従来の当社薬局にはない「きざみ漢方」（煎じて飲む漢方）なども扱っています。

また、さまざまな症例に対応できる薬剤師を育成する**教育研修機関**としての役割も担っています。



## ◆「アオキらしさ」も大切に

これまでにない雰囲気的空間作りにこだわる一方、「アオキらしさ」も忘れてはいけません。まず、外観を見れば一目瞭然。ドラッグ店舗と同じ赤色の看板が目を引きまします。

また、待合室の一角には、商品販売スペースを設置しています。一般用医薬品のほか、マスクや体温計、シップのような医療用品などを品揃えしており、お薬をお渡しするまでの待ち時間にも買い物をしていただくことができます。ドラッグ店舗の売場規模には及びませんが、患者様のご要望をお聞きしながら順次品揃えを充実させるなど、**地域の皆様の期待に応えることができる薬局づくり**を進めています。



## \*株主優待についてのお知らせ\*

- 対象：  
毎年5月20日時点の当社株主名簿に記録された株主様のうち、1単元（100株）以上ご所有の株主様
- 優待内容：  
下記の（A）または（B）のいずれかお一つをお選びいただけます。  
（A）株主優待カード・・・当社店舗でのお買上げの際、ご提示によりお買上げ金額から5%割引が受けられます。  
（\*使用期間は1年間、再発行は不可。一部割引対象外商品がございます。）
- （B）北陸地方の名産品
- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 100株から500株未満ご所有株主様   | 2,000円相当品 |
| 500株から1,000株未満ご所有株主様 | 3,000円相当品 |
| 1,000株以上ご所有株主様       | 5,000円相当品 |
- ご指定方法
- ① 「株主優待のご案内」を毎年8月に開催される定時株主総会招集ご通知に同封しご送付いたします。
  - ② ①に添付されている「株主優待品指定書」に必要事項を記入の上、必ず**お申し込み期限**までに、**株主優待事務局**までご返信ください。
  - ③ お選びいただいた優待品のお届けは**9月末**の予定です。

## 会社概要

■会社名	株式会社クスリのアオキ
■所在地	（本部）石川県白山市松本町2512番地
■電話番号	（代表）076-274-1111
■設立	昭和60年1月26日
■資本金	1,294百万円
■従業員	800名
■平均臨時雇用者数	944名
■店舗数	132店舗
■事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨などの近隣型小売業（ドラッグストア）、調剤薬局
■株式の状況	
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,760,000株
株主数	4,261名
	（平成21年5月20日現在）

■役員状況	
代表取締役会長	青木 桂生
代表取締役社長	青木 保外志
取締役副社長	佐藤 義和
常務取締役	三沢 康司
常務取締役	垣内 伸彦
取締役	澤野 和彦
取締役	鶴羽 樹
取締役	佐藤 京子
常勤監査役	田中 誠一
監査役	北川 忠夫
監査役	隅谷 護
監査役	高嶋 哲
	（平成21年8月19日現在）